

科目名 Subject	商品開発研究 Study for Innovation of Merchandise			教員名	小野田 光伸	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	2単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力			表現力、すなわち芸術における実践力		
	△			△		
科目の概要	ヘアスタイリストとしてのシャンプー剤の基礎をより深く身に付ける。 シャンプー剤制作会社と共同し、美容短大オリジナルシャンプー剤の開発、パッケージのデザイン。 最終的に販売まで視野に入れて製品化する。 幅広い年代の方に向けての製品化。 授業を通じて美齢学の理解を深める。□					
授業方法	対面授業					
授業の目標	髪や頭皮の理論、シャンプー成分などのケミカルについて学び、洗浄成分、保湿成分等数々の成分を調べ、分析することで、幅広い知識を得て、自分のイメージするシャンプー剤の制作をすることができるようになる。 また、販売まで視野に入れることで、パッケージデザイン、流通価格の相場などや商品化されるまでの経過を体験し知ることによって具体的な商品開発につなげることができるようになる。 老若男女問わず対応できる知識・応用力をつけることで、美齢学に取り組むために必要な知識を得て実践することができる。					
時間外学習 (予習・復習)	美容の最新技術・知識を把握する。 授業内容を図なども加えてノートに分かりやすくまとめプレゼンできるようにする。(1回ごとの想定時間：概ね2時間) サンプルを使用し、使用感などをノートに書き出す。					
教科書・教材	教科書		教員作成資料□			
	教材		なし			
	使用設備・備品		美容室・シャンプー室使用□			
	参考文献		化粧品内容成分由来事典。化粧品毒性判断事典□			
評価方法	授業態度などの平常点・技術試験・提出課題での評価 「平常点80%課題20%」□					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	美容理論を学ぶにあたり、遅刻、欠席はスキルアップに支障が出る為原則認めません。また、その為に再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退室等の不適切と思われる行為を行った場合は、欠席と同等の扱いとします。□					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	毛髪、頭皮理論について学ぶ。	より深い毛髪や頭皮の理論や知識を理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 2 回	ケミカル理論について学ぶ。	より深いケミカルの知識を理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 3 回	シャンプー成分などについて学ぶ。	より深いシャンプー成分などの知識を理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 4 回	製作者から基本的なレクチャーを受ける	シャンプー剤製作のポイントや注意・進行工程を理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 5 回	現存、市販されているシャンプーの中から主だった洗浄成分を調べ、研究検討	洗浄剤によってシャンプー剤の性質を見極めることができる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 6 回	シャンプー製造・販売メーカー A 社からシャンプー剤を学ぶ。	どのような目的でシャンプーを製造・販売しているかを学び、読み取り、説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 7 回	サンプル①発注 予算などから主な洗浄成分、保湿成分などを決める。	成分の単価を知り、製作のまとめ方・配合の知識を理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 8 回	シャンプー製造・販売メーカー B 社からシャンプー剤を学ぶ。	どのような目的でシャンプーを製造・販売しているかを学び、読み取り、説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 9 回	サンプル①テスト。 モニターを使い検討する。 サンプル②発注	出来上がったサンプル①を使用し、配合の見直し、決定し、説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 10 回	ピーカーワーク ピーカーを用い実際にシャンプー剤を製作。	実際にシャンプー剤を製作し、製作のポイントや注意・進行工程の知識を理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 11 回	サンプル②テスト。 モニターを使い検討する。 サンプル発注③	出来上がったサンプル②を使用し、配合の見直し、決定し、理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 12 回	流通、マーケティングなどを学ぶ。	製品販売におけるマーケティングの重要さの知識を理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 13 回	サンプル③テスト。 モニターを使い検討する。 最終製品の発注。	出来上がったサンプル③を使用し、配合の見直しを研究検討し説明できる。	講義内容についてまとめ、次回授業に活かせるように理解を深めておく。
第 14 回	パッケージデザイン、容器、ネーミングを決める。	使い勝手、印象、イメージ効果の知識を理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、プレゼンできるようにする。
第 15 回	製作者から最終的なアドバイスを受け、授業を振り返る。	経験したことや、学んだ知識を再確認し理解し説明できる。	講義内容についてまとめ、プレゼンできるようにする。